



Challenge! 誇り高き獅子たち

先輩 Interview

今回取材した廣川さんは、工務店を経営している祖父を身近に見ながら「建設」という仕事に触れ育ちました。そして、私立中高一貫の女子校から九州産業大学工学部建築学科へ進学。昨年の春、上村建設に入社しました。しっかりした面持ちで、臆することない真っ直ぐとした目と、現場を離れ雑談時に見せるフレッシュでかわいい笑顔が印象的。今の現場は2つ目の現場。新人としてすべての仕事が初めての体験で、戸惑いもあったようですが、そこはチャレンジマインドの高い彼女。これからも一つひとつを確実に積み上げていき、頂を目指したいと思いを語っていただきました。

上村建設株式会社

工務部

●入社1年目 廣川 公美さん

所長／一級建築施工管理技士

●入社21年目 武内 大介さん

きつくても、あきらめないし、そこから逃げない!

廣川 公美さん

廣川さんの初仕事は、すでに動いている10階建ての新築工事現場の8階建コンクリート打設という段階の現場でした。仕事は、所長の指示を伝え、現場を確認する「連絡・調整」など。一番苦労したのは、10階までの階段を何往復もしないといけないこと。加えてその日の仕事の準備を整えることができなかった日は、できない自分に悔しい思いもあったのだとか。一番助かったことは、武内所長から「困ったことはないか?」という言葉がけをしてもらったり、とにかく細かくフォローしてもらい本当にありがたかった。辞めたいなんて一度も思った事はありませんよ。何とか早く一人になりたい」と話す廣川さんでした。休日にはもっぱら趣味の「山登り」。よく登る山は「古処山」で一人でも登るのだそう。



My Dream

まだ入社したばかりで、仕事を覚えることで精一杯。まだ先のことばかりですが、まずは一級建築施工管理技士の資格をとって、とにかく実力をつけたい。若い時は、経験する時だと思っています。きついからと言って、あきらめないし、そこから逃げない。こうなりたと思って自分を鼓舞し、頑張る力に変えていきたいです。

素直さと明るさがあれば、伸び代はある!

所長 武内 大介さん

「自分で経験しなさいというのが指導の根幹。まずは、経験すること、そこからしか成長は始まらない。女性も活躍できる時代だとは思いますが、やっぱり機械を扱う時には非常に気を使う」と所長。工事現場は、現場監督(所長)によって建物の仕上がりが全く違うらしく、所長自らも、「何億というお金を預かって建物を造るわけだから、「この人に任せたい」と思ってもらえるよう私自身も、確実な仕事をしたい」と話していただきました。



廣川さんへのメッセージ

今後、廣川君と池長君の2人が女性チームのリーダーとなり、横のつながりを深め、一丸となって進めていける人になってほしい。

若い人へ

今はオンとオフが分かれている時代。より、コミュニケーションが大切になります。挨拶ができていれば、現場が明るくなり、コミュニケーションが取れます。自分で勉強して仕事からさまざまなことを学んでほしいですね。



「けんせつ小町」のシール。
気持ちも上がり引き締まる



職人の話にも耳を傾け、その技術を習得したい



今の現場は、所長はじめ新人2人の女性と、30代男性の4人で動かしている



現場に掲げられている「所長方針」はそこで働く人の基盤となる

上村建設の取り組み

従業員数が300人近くいる上村建設では、「ひとりぼっちをなくそう」ということで、8つの工事課をまたいだ交流会を積極的に実施。また、「若手社員の育成」として一級建築士の資格を取得するための費用をバックアップする支援を2018年からスタートする。



左から山口泰仁課長、武内大介所長、廣川公美さん、池長依子さん



一般社団法人 福岡県建設業協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18

TEL.092-477-6731 <http://www.fukukenko.jp/>

(一社)福岡県建設業協会は、福岡県の建設業のための公益を目的とした団体です。

全国建設業連合会

